



高師 康先輩

(石川 敏)

オートバイで颯爽とグラウンドへ、若き日の先輩の姿。私が小学校3年生の頃からよく浦中校庭で遊んだが、これが先輩との最初の出会いだったと思う。サッカーに親しみ、後年部の一員となってからは種々にご指導をいただくようになった。試合という試合には、必ずグラウンドのどこかでカメラを

構える姿が見受けられました。浦中グラウンドは当然、東大に神宮に、先輩の姿を見かけると不思議と心が安らぎプレーに専念できたことを思い出します。但し表にはあまり出てこられることはなく、簡単にして痛烈な批評を残して去られることが多かったと記憶しています。ある選手が当時はやりのダブルキックを行った、皆が歓声を上げたところ、先輩は言下に、「あんなスタンドプレーは好ましくない。」成程と思った。先輩は基本を大切にプレーすることを好まれた。当然のことだが行い難き事で人生に通ずるものである。